

歌舞伎 「黒御簾音楽の世界」 ～おと・まひ・わざ～



岐阜県は地歌舞伎王国とも言われ、全国で最も盛んな県とされています。その地歌舞伎の振付指導や黒御簾音楽の演奏、着付けなど、年間を通して県内各地で活躍する幫間喜久次が歌舞伎の魅力を解りやすくお送りするワークショップです。

舞台下手に設けられた黒御簾(くろみす)の奥で役者の演技や舞台の情景を引き立てる三味線・太鼓・笛などによる下座音楽(黒御簾音楽)、赤や青で彩られた鮮やかな隈取、役者が音楽に乗せて舞台上で表現する独特の動きなど、演奏や舞、隈取や所作の実演など交えながら、普段は決して見ることのできない世界を楽しく語ります。

また、NHKドラマのモチーフとなった幫間喜久次の艶やかな舞も披露致します。

主な内容

- 1、「黒御簾音楽とは」
クイズなどを交えて数十種類の楽器の効果を解りやすく
- 2、「みんなでチリカラ」
会場のみなさんと一緒に小鼓体験
- 3、「隈取実演」
色によって悪役、善人と異なる隈取をその場で顔に施します。
- 4、「歌舞伎の動き」
隈取をして、音に合わせて動いてみます
- 5、「幫間 喜久次の舞」
粋な舞をお楽しみ下さい。

2016年
5月 14日 (土)

開場 13:00 開演 13:30

会場：風ふれあいホール
(珈琲SKB南・駐車場あり)
岐阜市芥見南山3-5-31
会費：500円(中学生以上)
会費チケット：芥見東音楽同好会にて取扱い
お問合せ：芥見東音楽同好会
(芥見東公民館内)

大野利明 TEL 080-5298-8480

プロフィール

岐阜歌舞伎保存会・振付師
青木喜久次(幫間 喜久次)

岐阜のお茶屋(芸妓・舞妓をあげてお遊びいただくお座敷)を中心に御伽衆として皆様の宴をコーディネートし、日本でわずか7人となった幫間(ほうかん)として酒席の“間をお幫(たす)け”しています。書画にお芝居、舞にお雛子、料理に着物、あらゆる道に通じ、遊宴文化を伝えるべく努めております。2014年にはNHKドラマ「父の花咲く春」のモチーフとなり俳優の桐谷健太氏に屏風芸を指導。2015年には朝日新聞全国版の「人」欄で紹介されるなど、全国で注目を浴びています。また岐阜県下の地歌舞伎の振付指導、下座音楽、着付けなどを手がけ、岐阜市内はもとより、飛騨や東濃の芝居小屋にて活躍中。

主催：芥見東音楽同好会(岐阜市芸術文化協会会員)
協賛：風建設株式会社

後援：芥見東まちづくり協議会・芥見東自治会連合会